第２回目

公益の森づくりボランティア研修参加

2 月 22 日（月）山形県庄内総合支庁において、平成 22 年度出羽庄内公益の森づくり事業ボランティアリーダー研修（第 2 講）「海岸林と森林病害虫について」に参加しました。

研修の参加者は、行政関係、森林ボランティア団体、東北公益文科大学学生等（朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター 3 名）が総勢で 31 名が参加しました。

出羽庄内公益の森づくりを考える会では、住民参加による森づくり運動を支える人材を育成するための研修会を実施しており、第 1 回目が平成 22 年 7 月 22 日に酒田市の西荒瀬公民館及び西荒瀬保育園が活動している「しんちゃんの森」で、森林ボランティアの経験の少ない人を対象とした「野外活動の安全について」「森林環境教育の基礎知識について」研修が行われました。今回の第 2 回目の研修は、森林ボランティアの経験豊富な人材を対象として行われました。

研修内容については、庄内総合支庁森林整備課の講師からは「松原再生計画と海岸林での森林整備活動について」、「松くい虫被害について」、「ナラ枯れ被害について」、山形県森林研究研修センターの講師からは「抵抗性マツについて」、当センターの青山所長からは「ウエツキブナハムシの被害について」発表がありました。それぞれの発表者からは病害虫が及ぼす影響や防除対策などについて、解りやすい説明がありました。

研修の参加者からは、普段聞けない森林病害虫について知識を教わり、森林環境教育の参考になりましたとの感想もあり、今後もこのような研修会を企画して欲しいとの要望もありました。

最後に、庄内総合支庁森林整備課の担当官より閉会の挨拶を受け研修が終了しました。

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター